

～トイレ紙の持ち帰りで美しい丹沢を～  
かながわパークレンジャーによるトイレマナー啓発活動報告

石川瑠美子（神奈川県自然環境保全センター自然保護課・かながわパークレンジャー）

●はじめに

「山のトイレを考える会」様にはマナー袋のご提供や、私たちの活動を貴ホームページで紹介していただくなど大変お世話になっております。また、平成 22 年 3 月には愛甲先生にお越しいただき、神奈川県自然公園指導員、県民ボランティアに対して山岳トイレをとおして適正な公園利用に関する講義をしていただきました。

また、平成 23 年の第 12 回山のトイレを考えるフォーラムでは当センター自然公園課の吉田直哉が「土壌処理方式の山岳トイレの維持管理 - 神奈川県・丹沢山塊での事例紹介 - 」と題して講演を行いました。そして今回は紙面をお借りしてパークレンジャーによる丹沢での山岳トイレマナーの啓発活動について報告します。

●丹沢って？

丹沢は神奈川県北西部に位置しています。南北約 20 キロ東西約 40 キロの範囲に県内最高峰、標高 1,673 メートルの蛭ヶ岳をはじめとする山々が連なり、丹沢大山国定公園、県立丹沢大山自然公園に指定されています。都心から約 50 キロの距離にありますので、初心者からベテランまで 1 年を通じて約 31 万人の登山者が訪れ親しまれています。

● かながわパークレンジャーって？

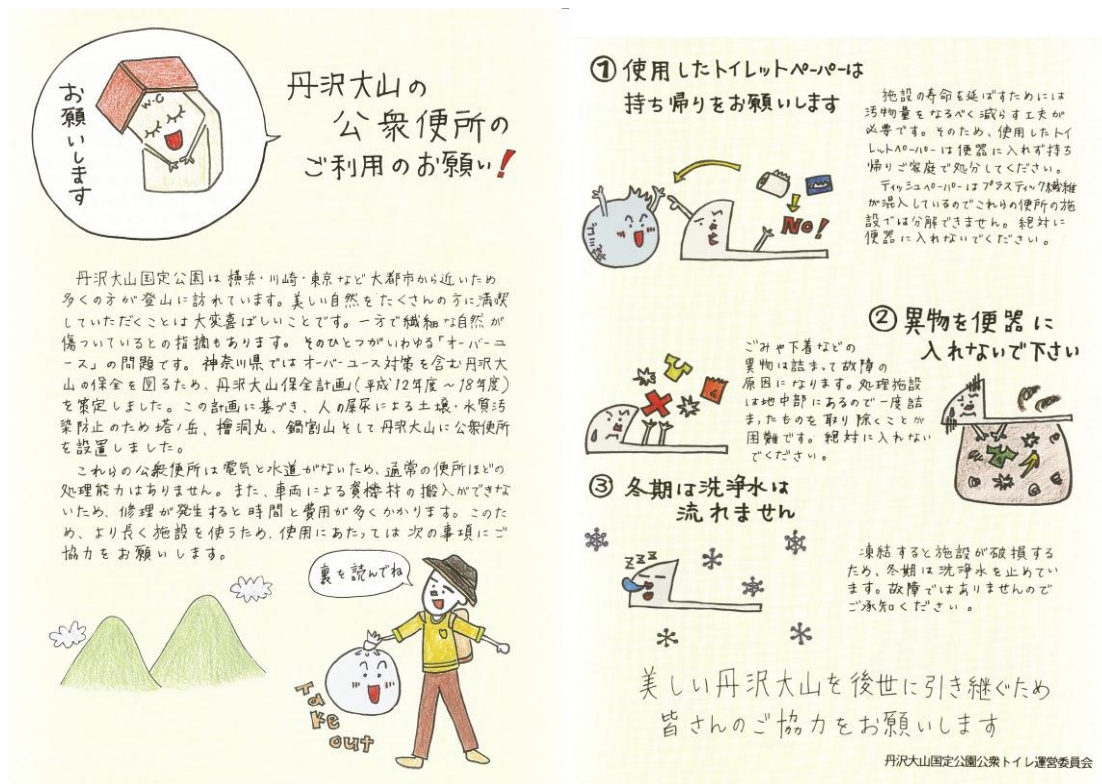
平成 19 年 9 月に発足し、①丹沢を中心として神奈川県の管理する登山道の巡視と施設の点検、補修 ②自然公園利用のマナーを伝える ③動植物の継続的な見守り ④ボランティアや NPO と協働した活動・・・などを行っています。現在 6 名体制になっています。



パークレンジャー活動のようす

## ●丹沢の山岳トイレ事情

現在、県が設置している土壌処理方式の山岳公衆トイレは有人の山小屋に隣接する4箇所と避難小屋に3箇所、園地内に1箇所と合計8箇所ありますが、処理能力を維持するためにも登山者のマナーの向上と積極的な協力が必要となります。県と山小屋では丹沢大山国定公園公衆トイレ運営委員会（以下「トイレ委員会」）を設置して「トイレ紙持ち帰り」で美しい丹沢を」をキャッチフレーズに普及の取り組みを行っています。さらに県では来年度から新たな補助制度を創設し、市町村による山岳トイレ整備や山小屋のトイレ改修なども進めていく予定です。



トイレ委員会の作成したチラシ

## ●トイレ紙持ち帰りキャンペーンの実施

前述したとおり山岳トイレの利用について登山者のマナー向上を図るために平成 22 年 6 月より 4 回にわたり登山口でキャンペーンを実施しました。方法は・・・

- ・（株）ムッシュ様より提供していただいたマナー袋の配布
- ・ トイレ委員会の作成したチラシ配布
- ・ パネルを使つての山のトイレ事情やマナーの説明
- ・ 登山者へのトイレ紙持ち帰りの呼びかけ
- ・ 山のトイレグッズ（携帯ウオッシュレット、携帯トイレなど）掲示と説明

などです。

過去4回の記録は次頁のとおりです。





平成22年6月5日（土）08：30～14：30

西丹沢自然教室前にて

神奈川県自然公園指導員11名

スタッフ4名

合計15名

マナー袋配布数 約400部

- ・ 記念すべき初めてのキャンペーンは丹沢を代表する花「シロヤシオ」の見ごろの時期を選びました。実施場所は登山基地になっていて、多くの登山者でにぎわいました。皆さん、好意的にマナー袋を受け取ってくれ、声かけにも応じてくれました。
- ・ 県民協働の推進を図るために神奈川県自然公園指導員と実施しました。
- ・ 10時から3コースにわかれ、巡視をしながら山で出会う登山者にマナー袋配布や声かけをしました。

平成22年11月6日（土）08：30～14：30

大倉バス停前にて

神奈川県自然公園指導員16名

スタッフ5名

合計21名

マナー袋配布数 約600部

- ・ 丹沢でも最も入山者が多い登山口のひとつです。紅葉の時期ともかきなりたくさんの登山者にペーパー持ち帰りの必要性を伝えることができました。
- ・ 2回目も神奈川県自然公園指導員と実施しました。多くの指導員が参加したので、基地班と登山道班にわかれしました。
- ・ 記者発表をし、ネットニュースで取り上げられました。
- ・ キャンペーン用ののぼり旗をつくり活用しました。
- ・ キャンペーン前後で各山小屋さんを回り山のトイレについて情報交換しました。



平成23年6月4日（土）08：00～15：00

西丹沢自然教室前にて

スタッフ3名（自然保護課職員、PR）

マナー袋配布数 約350部

- ・今回はスタッフ3名だけで実施しました。昨年6月同様「シロヤシオ」を目当てに訪れた登山者で賑わいました。
- ・西丹沢自然教室では安全登山のために登山届け提出の声かけを実施しています。登山届けを提出した方にトイレマナーについての簡単な説明とマナー袋などを配布するという、「安全登山の啓発」と「山のマナーの啓発」の連携プレーができました。

平成23年11月5日（土）08：00～16：00

西丹沢自然教室前にて

西丹沢自然教室職員 3名

パークレンジャー 3名 合計6名

マナー袋配布数 約170部

- ・前回6月実施を踏まえ、今回は西丹沢自然教室職員とパークレンジャーとの共同での開催としました。今後登山者に対して適切な指導をおこなえるように現場での機会を通じてノウハウの共有をはかるのが目的です。
- ・今回も「安全登山の啓発」と「山のマナーの啓発」の連携プレーとなりました。
- ・曇天のせいかマナー袋配布数は少なかったのですが、訪れる登山者が比較的若く登山経験が少ない方が目に付きましたので山のマナーを伝えるよい機会になりました。



## ●ホームページでの啓発

パークレンジャーが登山道の巡視で得た山歩きの際の注意点や動植物などの自然情報をホームページで公開しています。併せてトイレ紙の持ち帰りキャンペーンのようすや巡視の際に見かけた山中でのトイレ紙の状況も掲載しております。

- ・ 登山道脇に数箇所キジゴミ(ティシュペーパー)が散乱していました。大変残念なことです。
- ・ ティシュペーパーは化学繊維が混入されていますのでそのまま残ってしまいます。美しい丹沢を守るためにペーパーの持ち帰りのご協力をお願いします。



(写真) 散乱していたティシュペーパー

ホームページの一部より抜粋

## ●パンフレットでの啓発

昨年3月に「自然公園・丹沢」を紹介するパンフレットを新しく作成し、パークレンジャーも作成に関わりました。「丹沢のためにできること」として利用規制やマナーに関しても取り上げており、トイレマナーについても記載しています。



パンフレットの一部分より抜粋

## ● マスコミを通しての啓発

平成 22 年 11 月 6 日に実施したキャンペーンに先立ち記者発表を行い、ネットでのニュースで取り上げられました。(残念ながら当日の取材はありませんでしたが・・・)

平成 23 年 5 月には「かながわの山を歩こう」という題でパークレンジャーの仕事を紹介するテレビ番組があり、その中で実際に避難小屋の山岳公衆トイレやマナー袋の映像も映し視聴者の方にトイレマナーを伝えることができました。

また、同 8 月にはラジオで神奈川の山を紹介する番組に出演し、面白そうな登山用語として「キジ撃ち」「お花摘み」を紹介し、トイレマナーについて触れるという機会も持ちました。

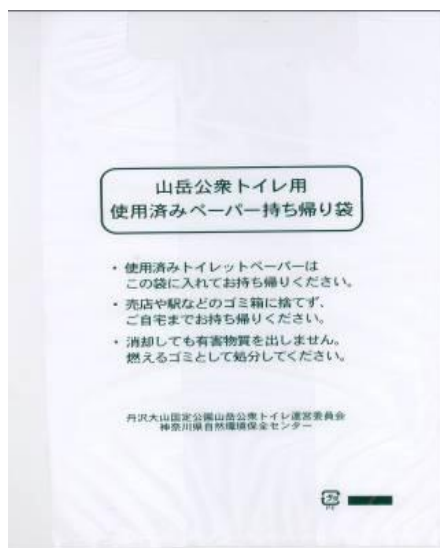
## ● 今後の活動についてと課題

過去 4 回のキャンペーンでは登山者の方はほぼ好意的にマナー袋を受け取ってくれ、声かけにも応じてくれました。「今まで意識したことがなかったのでこれからは持ち帰ります。」という反応も多く、多くの登山者の方に山岳公衆トイレのしくみやペーパー持ち帰りの意義を認識、理解してもらえることができました。

1 回目、2 回目は神奈川県自然公園指導員による活動として実施しました。皆さん熱心で今後もこの活動を継続していきたいとの感想が多くありましたが、参加した指導員の人数が多く手持ち無沙汰だった感がややあり、また集合時間も朝が早いなど制約があるため、今後指導員活動と協働して活動するには改善すべき課題が残ります。

丹沢にはキャンペーンの活動場所となった西丹沢自然教室のほかに、秦野ビジターセンターや宮ヶ瀬ビジターセンター、丹沢湖ビジターセンターなどのビジターセンターがあります。ビジターセンターは展示物や行事を通してトイレマナーを含む自然公園の利用マナーの啓発活動をしています。県では各部署が独自に実施している普及啓発活動についてワーキンググループを発足しトイレマナーの啓発内容についても協議と試行を重ね、より強力で効果的な取り組みにしていきたいと考えております。

またトイレマナー普及啓発活動の取り組みも踏まえ、トイレ委員会で新たに「使用済みペーパー持ち帰り袋」を作成したので、このツールを使ってより一層発展させていければと思っております。ご期待ください。



丹沢での使用済みペーパー持ち帰り袋が  
できました。来年度は活躍しそうです！

以上